

事業シート(令和8年度予算)

事業名	31100 女性相談事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	男女共同参画基本計画、人権施策推進指針、過疎地域持続的発展計画		
	款	3	民生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり									
	項	1	社会福祉費		政策分野	1	福祉・医療・健康			市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。					
	目	1	社会福祉総務費		施策分野	(4)	児童福祉									
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2914												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・女性に関するあらゆる相談に応じ、必要な助言や指導、支援を行うことにより、女性の 人権擁護と男女平等の実現を図る。	概要	・女性相談支援員1名の配置 ・配偶者の暴力などの相談に対する助言・指導、女性相談支援センターとの連携 ・女性に関する様々な相談に対する助言・指導、他機関との連携
----	--------------------------------------------------------------	----	----------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		359	358	290			
特定財源	国費(女性保護事業費 1/2)	24	0	24			
	県費(人権啓発活動費 10/10)	170	209	210			
	その他						
一般財源		165	149	56			
新規・拡充	主な事業内容						
	DV予防啓発	209	209	210			
	外国人に対する相談支援の充実			20			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		300
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
290	290	290	0	0
24	24	24	0	0
210	210	210	0	0
56	56	56	0	0
査定額	説明			
210				
20				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・女性相談支援員による相談業務(新規相談件数:51件) ・地元情報誌にDV予防啓発に関する広告を掲載
評価等	・相談内容が複雑化、多様化しているほか、DV防止の個々の意識の高まりや社会的風潮から、女性相談業務へのニーズは高い。 ・市民が安全で安心できる家庭生活を送るために、相談業務やDV防止、女性保護に対する市民意識の向上に努めている。
次年度以降の考え方(担当課)	・多様化する相談業務に対し、総合相談窓口や法律相談窓口などの各種相談窓口や、各行政部門、学校、警察など関係機関の連携により、円滑な対応を目指す。 ・DV防止、女性保護など市民への啓発活動を一層進める。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・DV予防啓発(地元情報誌への広告掲載)に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	32110 ひとり親家庭等支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	こども未来計画、過疎地域持続的発展計画、地域福祉計画	
	款	3	民生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり								
	項	2	児童福祉費		政策分野	1	福祉・医療・健康								
	目	1	児童福祉総費		施策分野	(4)	児童福祉								
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2914								市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	ひとり親家庭に対する相談や指導、援助を実施することにより、福祉の向上を図る。 ひとり親家庭の父母に資格取得を奨励し、就業の促進と雇用の安定を図る。	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども家庭センターに母子・父子自立支援員(兼務)を配置</li> <li>ひとり親家庭等日常生活支援事業によるひとり親家庭への家事・育児支援</li> <li>母子及び寡婦世帯などの福祉向上を目的に、母子寡婦福祉会に補助金を交付</li> <li>ひとり親家庭の就業支援を目的に、母子家庭等就業支援事業補助金を交付</li> </ul>
----	------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
母子・父子自立支援員による新規相談件数	72件		80件
母子家庭等支援事業補助金を利用した資格取得者などの人数	3人		10人

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,791	4,529	12,770			
特定財源	国費(母子家庭等就業支援事業費 3/4)	2,419	2,109	2,466			
	県費(ひとり親家庭等日常生活支援事業費 3/4)	337	221	210			
	その他(ひとり親家庭等日常生活支援事業雑入)	50	7	10			
一般財源		1,985	2,192	10,084			
新規・拡充	主な事業内容						
	母子寡婦福祉会に対する助成	300	300	300			
	ひとり親家庭の自立のための資格取得等に対する助成	3,850	3,824	3,930			
	ひとり親家庭等に対する訪問支援	500	295	730			
	母子・父子福祉センターの管理運営(指定管理委託料)			7,760			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		12,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
15,110	15,090	15,090	2,320	
3,814	3,814	3,814	1,348	
532	430	430	220	
26	20	20	10	
10,738	10,826	10,826	742	
査定額	説明			
300				
6,020				
730				
7,990				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子・父子自立支援員が各種相談を受け、指導・援助などの自立支援を実施 新規相談件数:70件</li> <li>母子寡婦福祉会に補助金を交付</li> <li>母子家庭等就業支援事業補助金を交付 自立支援教育訓練給付金支給件数:0件 高等職業訓練促進給付金支給件数:3件(R6年度1件修了・R7年度2件修了予定)</li> <li>ひとり親家庭等日常生活支援 子育て支援 のべ6回 実人数 1名 生活支援 のべ38回 実人数 3名</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象はひとり親家庭に限られているが、相談事例は多い。就業支援の問い合わせ等もあり、ニーズは高い。</li> <li>母子家庭等就業支援事業補助金の利用者は就業に結びつく事例が多く、その役割を果たしている。</li> <li>ひとり親家庭等日常生活支援事業は、ひとり親が児童の世話が困難となった時などに活用することで、親の就労継続や生活支援に有効である。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子家庭等就業支援事業については、該当者への個別通知、対象機関との連携などにより、一層の周知を図り、利用を促進して就業の支援を行う。</li> <li>母子父子相談事業については、県ひとり親支援センターなどの関係機関との連携強化により対応していく。</li> <li>ひとり親家庭等日常生活支援事業については、相談支援を通じ、必要な家庭への利用促進を図るとともに、ニーズに対応できるよう支援対象を拡大する。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親家庭等に対する支援に必要な経費を計上</li> <li>母子・父子福祉センターの管理運営に必要な経費を計上</li> </ul>
財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和8年度予算)

事業名	32115 こども家庭センター運営事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	こども未来計画、過疎地域持続的発展計画、教育振興基本計画、地域福祉計画
	款	3	民生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり							
	項	2	児童福祉費		政策分野	1	福祉・医療・健康							
	目	1	児童福祉総務費		施策分野	(4)	児童福祉							
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2914				分野別			市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・児童の養育に関する相談や指導、援助のほか、児童虐待の早期発見・早期対応、未然防止を図り、児童の福祉向上を図る。</p>	概要	<p>・家庭児童相談員の配置による相談支援 ・母子保健との一体的な切れ目のないこども家庭支援 ・子育て世帯訪問支援事業や子育て短期支援事業などによる家庭支援</p>
----	-----------------------------------------------------------------	----	--------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	68.9%		ノ
家庭児童相談員による新規相談件数	946件		1,000件
こども家庭センターにおけるサポートプランの作成件数	17件		40件

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		7,289	3,305	3,017			
特定財源	国費(子育て世帯訪問支援事業費1/3、養育支援訪問事業費1/3等)	520	274	564			
	県費(子育て世帯訪問支援事業費1/3、養育支援訪問事業費1/3等)	2,270	419	564			
	その他(子育て世帯訪問支援事業費(利用者負担金)等)	1,300	0	9			
一般財源		3,199	2,612	1,880			
新規・拡充	主な事業内容						
	こども家庭センターの運営	429	291	557			
	養育支援が必要な家庭に対する訪問支援	60	372	640			
	養育支援が必要な家庭に対する家事支援	1,800	471	1,180			
	子育て短期支援事業の委託			600			
	里親委託にかかる保険加入			40			
	ヤングケアラーに対する支援						
	こども食堂の開設・運営に対する助成	3,500	671				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		3,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,110	2,810	2,810	△ 207	
1,303	586	586	22	
555	586	586	22	
2	1	1	△ 8	
2,250	1,637	1,637	△ 243	
査定額	説明			
690				
360				
730	子育て世帯訪問支援事業			
990				
40				
0				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<p>・家庭児童相談室に家庭児童相談員を配置した相談支援 新規相談件数:937件 個別ケース検討会議開催回数:9回、担当者会議開催回数:47回 ・養育支援訪問 専門的相談支援:2世帯のべ57回 ・こども食堂等運営支援補助:食堂1団体、配食2団体</p>
評価等	<p>・相談内容は養護、養育、発達、障がいなど多岐にわたっており、市民のニーズは高い。 ・相談内容により女性相談や生活困窮窓口と緊密な連絡をとり、連携して取り組んでいる。 ・養育上、支援が必要な家庭に対し、養育支援訪問を行うことで、子育て環境の安定を図った。</p>
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・幼稚園、保育園、小中学校や子ども相談センター、児童発達支援事業所、児童養護施設など関係機関との連携を強化して、事業に対応していく。 ・こども家庭センターにおいて、妊娠前から自立するまで安心して子育てができる切れ目のない支援を一層推進する。 ・児童の居場所づくり、見守りのため、こども食堂運営団体への助成のほか、家庭支援事業などにより、児童・子育て世帯への支援を進める。</p>

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R6完了
- R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課	<p>・こども家庭センターの運営に必要な経費を計上 ・地域情報誌へのヤングケアラー啓発広告の掲載及び教員を対象とした研修用動画の製作に必要な経費を計上</p>
-----	-------------------------------------------------------------------------------------

財務部査定の考え方	<p>・精算内容を精査 ・ヤングケアラーに対する支援については、研修用動画の製作を既存事業の講演会等を活用するなどにより、予算化を見送り</p>
市長査定の考え方	<p>・財務部査定のとおり</p>

事業シート(令和8年度予算)

事業名	32135 遺児激励金給付事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	子ども未来計画、過疎地域持続的発展計画、地域福祉計画	
	款	3	民生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり								
	項	2	児童福祉費		政策分野	1	福祉・医療・健康								
	目	1	児童福祉総務費		施策分野	(4)	児童福祉								
担当課	子ども未来部	子ども家庭センター	内線	2914					市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。					

1. 事業の目的・概要(Plan)

目的	・親などを亡くした遺児に対して、激励金、就職支度金を支給し、遺児の健やかな成長の一助とする。	概要	・病気や事故等によって親などを亡くした遺児への激励金の支給
----	------------------------------------------------	----	-------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2. 事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		5,800	5,135	5,800			
特定財源	国費( )						
	県費( )						
	その他(福祉健康基金繰入金)	1,000	0	1,000			
一般財源		4,800	5,135	4,800			
新規・拡充	主な事業内容						
	遺児激励金等	4,800	5,135	4,800			
	交通・火災災害遺児激励金	1,000	0	1,000			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4. 令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		5,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
5,800	5,800	5,800	0	
0	1,000	1,000	0	
5,800	4,800	4,800	0	
査定額	説明			
4,800				
1,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3. 令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・病気や事故等により親などを亡くした遺児に対して、激励金、就職支度金を支給 遺児激励金支給件数:130件 交通・火災災害遺児激励金支給件数:0件 就職支度金支給件数:6件
評価等	・毎年の激励金、就職時の就職支度金の支給は、遺児の健全な成長や自立に寄与している。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 ・遺児の健やかな成長と福祉の増進を図る事業であり、継続して実施する。

5. 令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・病気や事故等によって親などを亡くした遺児に対する支援に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	32145 母子保護事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	こども未来計画、地域福祉計画	
	款	3	民生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり								
	項	2	児童福祉費		政策分野	1	福祉・医療・健康								
	目	1	児童福祉総務費		施策分野	(4)	児童福祉								
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2914				市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。						

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・生活基盤の弱い母子の自立支援のため、母子生活支援施設への入所を委託する。	概要	・母子生活支援施設、および市外施設への入所委託
----	---------------------------------------	----	-------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		36,310	33,674	35,060			
特定財源	国費 ( 母子生活支援施設費 1/2、身元保証人確保対策事業費 1/2 )	19,990	15,966	17,490			
	県費 ( 母子生活支援施設費 1/4 )	9,980	7,979	8,730			
	その他( 母子生活支援施設費負担金、過年度収入 )	80	106	80			
一般財源		6,260	9,623	8,760			
新規・拡充	主な事業内容						
	母子生活支援施設の入所委託等	36,250	33,655	35,000			
	施設等の退所に係る身元保証人の確保に対する支援	60	19	60			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action) (千円)

R8予算		実施計画額		35,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
38,046	38,050	38,050	2,990	
19,019	18,980	18,980	1,490	
9,498	9,480	9,480	750	
6	80	80	0	
9,523	9,510	9,510	750	
査定額	説明			
38,000				
50				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>母子生活支援施設への入所措置 入所措置世帯数: 6件</li> <li>退所世帯数: 2件</li> <li>施設等の退所に係る身元保証人の確保に対する支援: 1件</li> </ul>
評価等	・児童福祉法に基づいた母子生活支援施設への入所措置であり、経済基盤の弱い母子世帯、およびDV被害を受けた母子世帯などへの保護と自立支援が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul>

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了</li> <li><input type="checkbox"/> R8完了予定</li> </ul>

担当課 予算要求 ポイント	・母子世帯などの保護と自立を支援するために必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	32153 子ども発達支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	子どもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	子ども未来計画、障がい者福祉総合計画、過疎地域持続的発展計画、地域福祉計画、教育振興基本計画
	款	3	民生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり							
	項	2	児童福祉費		政策分野	1	福祉・医療・健康							
	目	1	児童福祉総務費		施策分野	(4)	児童福祉							
担当課	子ども未来部	子ども家庭センター	内線	2914				市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい児に対する療育訓練の実施により、児童の社会生活への適応を図る。</li> <li>障がいを持つ児童の保護者に対し、様々な相談支援を行うことで、適切な関わり方についての助言や保護者の精神的な負担を軽減する。</li> </ul>	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>医師による診断、就学や家庭での支援を助言</li> <li>いきいき広場などの直営療育事業所の運営</li> <li>専門職による5歳児健診の結果に応じた発育や発達上の課題への支援、言語聴覚士・心理師等による事後指導の拡充(R8～言語訓練委託)</li> <li>保健、福祉、教育の各分野の専門スタッフの配置やサポートブック活用による切れ目のない支援の引継ぎと発達支援</li> <li>発達支援研修の実施</li> </ul>
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6		R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)
				16,160		
特定財源	国費( 子ども発達支援事業費 1/2 )					
	県費( 子ども発達支援事業費 1/4 )					
	その他( 児童福祉施設使用雑入、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等 )			3,570		
一般財源				12,590		
新規・拡充	主な事業内容					
	障がい児療育事業(総合診断、家庭療育プログラムの作成等)			660		
○ 1	5歳児健診の事後指導			530		
	直営児童発達支援施設の管理運営(いきいき広場など)			5,061		
	早期集団指導の実施(あゆみ学園)			5,250		
	サポートブックの作成、配付			320		
	保育士等への発達支援研修の開催による療育支援体制の充実			2,830		

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		17,800
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
18,963	19,240	19,240	3,080	
4,314	4,500	4,500	4,500	
1,563	1,640	1,640	1,640	
2,328	2,320	2,330	△ 1,240	
10,758	10,780	10,770	△ 1,820	
査定額	説明			
	5歳児健診の事後指導に統合			
2,930				
5,860				
5,280				
540				
3,100				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>5歳児健診の事後指導体制の強化に必要な経費を計上</li> <li>発達支援に対する保育士等の支援力向上のための研修に必要な経費を計上</li> </ul>
---------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査し、必要な経費を計上
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	32153 こども発達支援事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input type="checkbox"/> R8新規	会計	1	一般会計	担当課	こども未来部こども家庭センター
枝番・内容	1 5歳児健診の事後指導		<input type="checkbox"/> R7拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R8拡充		款	3		
			<input type="checkbox"/> その他重要事業		項	2	児童福祉費	内線	2805
			<input type="checkbox"/>		目	1	児童福祉総務費	作成年月	R8.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・5歳児健診の結果、指導が必要な児童に対し、療法師等による事後指導を行い、必要に応じて速やかに必要な支援の実施や専門医へと繋げる体制を整える。	概要	・5歳児健診事後指導として必要な児童に対し、言語訓練及び公認心理師等による心理アセスメント、医師によるアセスメント評価・診断を行い、就学まで必要な支援を継続して実施するとともに、必要に応じて速やかに専門医へ繋げる体制を整える。
----	-------------------------------------------------------------------------	----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

[参考] R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

[参考] R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	360
主な経費	・報償費	
対前年度増減額(当初予算)		360

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	2,930
主な経費	・報償費 ・旅費 ・需用費 ・委託料 ・使用料及び賃借料	
対前年度増減額(当初予算)		2,570

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	・言語聴覚士、心理師による5歳児健診事後指導
[スケジュール]	・R7.4～実施

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	・5歳児健診の結果、支援が必要な児童に対し、以下の取組を実施 ・言語聴覚士等による健診事後指導 ・心理師による心理アセスメント評価および継続支援 ・言語訓練(委託) ・医師による診断、就学や家庭での支援を助言
[スケジュール]	・R8.4～ 事業内容を拡充して実施

事業シート(令和8年度予算)

事業名	32155 障がい児通所支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	こども未来計画、障がい者福祉総合計画、過疎地域持続的発展計画、地域福祉計画
	款	3	民生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり							
	項	2	児童福祉費		政策分野	1	福祉・医療・健康							
	目	1	児童福祉総務費		施策分野	(4)	児童福祉							
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2914				市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・障がい児に対して療育訓練や相談支援を行うことで、児童の社会生活への適応を図る。	概要	・児童発達支援事業所等における日常生活訓練などの療育や相談支援の実施 ・事業利用者への自己負担に対する助成 ・障がい児等の保護者に対して、病院や障がい児通所施設へ通う交通費等の一部を助成
----	------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R6			R7		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		493,702	479,036	575,090			
特定財源	国費 ( 障がい児通所支援給付費 1/2 )	226,750	204,516	272,200			
	県費 ( 障がい児通所支援給付費 1/4 )	113,375	102,183	136,100			
	その他( 福祉健康基金収入・児童福祉施設使用雑入 等 )	9,324	11,523				
一般財源		144,253	160,814	166,790			
新規・拡充	主な事業内容						
	直営児童発達支援施設の管理運営(いきいき広場など)	5,430	4,905				
	早期集団指導の実施	5,250	4,689				
	障がい児通所支援(扶助費)	454,700	441,147	544,400			
	障がい児通所支援(委託)	31	30	1,400			
	自立支援給付等利用者負担に対する助成	6,900	6,913	7,600			
	障がい児通園等に対する助成	17,500	17,693	19,000			
	保育士研修による療育支援体制の充実	1,630	1,485				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		575,100
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
541,425	550,580	550,580	△ 24,510	
257,531	261,600	261,600	△ 10,600	
128,765	130,800	130,800	△ 5,300	
		6,770	6,770	
155,129	158,180	151,410	△ 15,380	
査定額	説明			
523,200				
1,400				
7,600				
16,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・児童発達支援事業所などにおける日常生活訓練などの療育、相談支援 直営児童発達支援事業所延べ利用者数:3,237人 あゆみ学園・第二あゆみ学園 延べ利用者数:6,135人 ゆりのこなど延べ利用者数:30,090人 ・事業利用者への自己負担助成の実施 ・保育園・幼稚園・小中学校等での支援を充実させるための保育士等への研修会の実施 専門療育スタッフ支援事業の支援件数:21件 保育園、幼稚園心理師訪問回数:48回
評価等	・支援を必要とする児童が増加傾向にあり、早期発見・早期支援のために、保健・福祉・教育の関係部門が一体的に連携して対応する体制を継続する必要がある。 ・地域療育の質を確保するために、ニーズに沿った高い専門性を備えた人材育成が必要である。 ・「障がい児通所支援サービス支給量審査委員会」を設置し、児童の障がいの程度や家庭環境等を踏まえ支給量を調整する仕組みを引き続き運用することで、サービス利用の適正化が図られている。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定 ・保健・福祉・教育各分野の専門スタッフを配置したこども家庭センターが中心となり、妊娠期から自立するまでの子育て世帯への切れ目のない支援を推進する。 ・障がい児等に対する適正な福祉サービスの提供を推進する。

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・障がい児通所支援に必要な経費を計上
---------------------	--------------------

財務部 査定の 考え方	・精算内容を精査 ・国の報酬単価決定に伴う必要な経費を計上
市長査定 の考え方	・精算内容を精査

事業シート(令和8年度予算)

事業名	32165 障がい児居宅支援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	こども未来計画、過疎地域持続的発展計画、地域福祉計画		
	款	3	民生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり		市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。						
	項	2	児童福祉費		政策分野	1	福祉・医療・健康									
	目	1	児童福祉総務費		施策分野	(4)	児童福祉									
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2914												

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	障がい児が自宅で適切な養育を受けられるよう支援を行う。	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者総合支援法による福祉サービスの実施</li> <li>・利用者負担に対する助成</li> <li>・医療的ケア児に対する訪問看護や保護者のレスパイト支援</li> </ul>
----	-----------------------------	----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		32,300	23,046	24,900			
特定財源	国費(自立支援給付費(障がい福祉サービス等) 1/2)	600	878	1,600			
	県費(自立支援給付費(障がい福祉サービス等) 1/4)	300	439	800			
	その他						
一般財源		31,400	21,729	22,500			
新規・拡充	主な事業内容						
	障がい児居宅生活支援	28,700	21,286	22,500			
	自立支援給付等利用者負担に対する助成	1,600	893	1,200			
	医療行為を必要とする障がい児の訪問看護等に対する助成	1,850	864	1,000			
	医療的ケア児等介護者のレスパイト支援	150	3	200			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		24,900
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
28,718	28,600	28,600	3,700	
2,266	2,260	2,260	660	
1,133	1,130	1,130	330	
25,319	25,210	25,210	2,710	
査定額	説明			
25,600				
1,400				
1,400				
200				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績、評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期入所利用延べ人数: 217人</li> <li>・日中一時支援利用延べ人数: 6,467人</li> <li>・看護支援利用延べ回数: 59回</li> <li>・利用者負担に対する助成</li> <li>・レスパイト入院時の付添い支援制度を創設 利用回数: 1回</li> </ul>
評価等	・障がい児が自宅で生活を継続できるよう、きめ細やかな福祉サービスが実施できた。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績、評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・障がい児の居宅生活及び在宅の医療的ケア児や介護者を支援するために必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41300 母子保健事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	こども未来計画、健康たかやま21、食育推進計画、過疎地域持続的発展計画、地域福祉計画、教育振興基本計画、自殺対策計画	
	款	4	衛生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり								
	項	1	保健衛生費		政策分野	2	こども・教育・交流								
	目	3	母子衛生費		施策分野	(1)	こども・子育て								
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2805					市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。					

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・妊産婦および乳幼児の健康の保持増進	概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健診・助産師相談、新生児聴覚検査</li> <li>・妊婦健康診査、妊婦歯科検診、妊婦教室</li> <li>・生殖補助医療費助成、生殖補助医療支援利子補給金交付、人工授精費助成</li> <li>・産後健康診査</li> <li>・産後ケア事業</li> <li>・初回産科受診料助成</li> <li>・妊婦に対する健診・出産時交通費等助成</li> <li>・不妊治療交通費助成(R8～)</li> </ul>
----	--------------------	----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標
この地域で子育てしたいと思う親の割合	95.5%		95.4%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		111,124	74,949	120,855			
特定財源	国費(母子保健事業費 1/2)	6,360	6,260	9,720			
	県費(母子保健事業費 1/4、3/4)			2,430			
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	100,000	60,000	55,000			
一般財源		4,764	8,689	53,705			
新規・拡充	主な事業内容						
	母子健康手帳交付から就学に至るまでの母子保健活動	9,519	7,094	13,000			
○ 1	生殖補助医療費助成、生殖補助医療支援利子補給金、人工授精費助成 等	25,830	13,089	21,230			
	妊婦健康診査、産後健診、新生児聴覚検査費助成	69,570	48,754	67,150			
	妊婦栄養支援	340	145				
	妊産婦相談窓口の設置	140	131	2,700			
	心身の休養が必要な産婦に対する支援(産後ケア)	5,650	5,680	6,720			
	初回産科受診料助成、妊婦に対する健診・出産時交通費等助成 等	50	31	10,030			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		125,600
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
127,174	122,375	122,375	1,520	
9,988	10,030	10,030	310	
8,570	3,560	3,560	1,130	
		81,000	26,000	
108,616	108,785	27,785	△ 25,920	
査定額	説明			
13,415				
29,270				
60,495	妊婦健診、妊婦歯科検診、産後健診 等			
2,780	助産師相談			
7,360				
9,030				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦一般健康診査受診票を424人に交付し、5,013件、産後健康診査(産後2週間及び産後1か月)は延べ765件、新生児聴覚スクリーニング検査は392人に助成を行った。</li> <li>・妊婦栄養支援として、令和5年度からの継続者40件に対し、牛乳またはヨーグルト購入費の助成を行った。宅配業者の都合及び他事業(ぎふっこギフトへの乳製品の取扱)での対応により、令和6年度で事業終了</li> <li>・生後2か月前後の乳児に対し赤ちゃん訪問を397人に行った。</li> <li>・乳幼児健診(1か月・4か月・1歳6か月・3歳)、相談(7か月・10か月・2歳)事業として3,085人に行った。</li> <li>・不妊治療費の助成を人工授精24件、生殖補助医療90件(内、先進医療25件)行った。</li> <li>・特定不妊治療支援利子補給を2件、生殖補助医療利子補給を2件行った。</li> <li>・助産師相談を24回開催し、延べ347人が利用した。</li> <li>・産後ケア事業を110人が利用した(宿泊型80泊、通所型38日、訪問型392回)。</li> <li>・初回産科受診料の助成を4件行った。</li> </ul>
評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団で行う乳幼児健診、相談事業は受診率90%を超えており、乳幼児の健康保持増進及び保護者の育児についての正しい理解を深める場として実施できている。</li> <li>・妊娠期から子育て期までを各種健診、相談、産後ケア事業等を実施し、包括的・継続的に支援している。</li> <li>・産後ケア事業や助産師相談の実施により、妊娠期や出産後の体の変化や育児に関する不安を軽減し、安心して出産育児に向かえるよう支援している。</li> </ul>
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての妊婦、子育て家庭が安心して出産・子育てできるよう、必要な事業を拡大していく。(5歳児健診、妊婦健診・出産時の交通費助成の実施、助産師相談の拡充)</li> <li>・産後ケアや助産師相談、保健指導など、妊産婦の心身の健康保持増進を図る。</li> </ul>

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持・改善</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 拡大</li> <li><input type="checkbox"/> 縮小</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止検討</li> <li><input type="checkbox"/> R6完了</li> <li><input type="checkbox"/> R7完了予定</li> </ul>

担当課	・乳幼児及び妊産婦の健康増進のため、妊娠期から産後にわたる切れ目のない支援に必要な経費を計上
予算要求ポイント	・遠方の施設での不妊治療にかかる交通費への支援に必要な経費を計上

財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・積算内容を精査

主要事業個票(令和8年度予算)

事業名	41300 母子保健事業費	区分	<input type="checkbox"/> R7新規	<input type="checkbox"/> R8新規	予算	会計	1	一般会計	担当課	こども未来部こども家庭センター	
枝番・内容	1 不妊治療に対する助成(遠方の不妊治療施設までの移動にかかる交通費に対する助成)		<input type="checkbox"/> R7拡充	<input checked="" type="checkbox"/> R8拡充		款	4	衛生費			
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		1	保健衛生費	内線			2805
		<input type="checkbox"/>		目		3	母子衛生費	作成年月			R8.2

事業の目的・概要(Plan)

目的	・居住地にかかわらず、安全・安心に妊婦ができ、適切な医療や保健サービスが受けられる環境を実現するため、遠方の不妊治療施設までの移動にかかる交通費の助成を行うことにより、不妊治療を行う者の経済的負担の軽減を図る。	概要	・遠方の不妊治療施設で生殖補助医療および先進医療の治療をするための通院に要する交通費の一部を助成する。
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----------------------------------------------------

[参考] R6決算(Do・Check) R7.8時点 (千円)

予算額	当初	24,600
	繰越	
	補正等	
	最終	24,600
決算額		12,663
対前年度増減額(決算)		△ 400

[参考] R7当初予算(Action) R7.3時点 (千円)

予算額	当初	20,000
主な経費	・生殖補助医療費に対する助成	
対前年度増減額(当初予算)		△ 4,600

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R7決算(Do・Check) R8.8時点 (千円)

予算額	当初	
	繰越	
	補正等	
	最終	
決算額		
対前年度増減額(決算)		

R8当初予算(Action) (千円)

予算額	当初	28,000
主な経費	・生殖補助医療費に対する助成 ・不妊治療に係る交通費に対する助成(拡充)	
対前年度増減額(当初予算)		8,000

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等	
[事業実績]	・生殖補助医療費助成 90件
[評価等]	・不妊治療にかかる費用等の助成により、経済的な負担の軽減を図った。
次年度以降の考え方(担当課)	不妊治療は受診者の経済的負担が大きい。また少子化対策の一環でもあるため、今後も必要である。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R5完了 <input type="checkbox"/> R6完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業実績]	以下の3種類の生殖補助医療費に対して助成を実施 ①保険診療 1回の保険治療の自己負担額(高額療養費を差し引いた額)あたり上限30万円 ②保険診療+先進医療 1回の保険治療の自己負担額(高額療養費を差し引いた額)+先進医療費あたり、上限30万円 ③保険外診療 1回の保険外治療あたり上限30万円
[スケジュール]	・R7.4～ 事業開始
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業実績、評価等	
[事業実績]	
[評価等]	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業内容、スケジュール	
[事業内容]	○生殖補助医療費に対する助成 以下の3種類の生殖補助医療費に対して助成を実施 ①保険診療 1回の保険治療の自己負担額(高額療養費を差し引いた額)あたり上限30万円 ②保険診療+先進医療 1回の保険治療の自己負担額(高額療養費を差し引いた額)+先進医療費あたり、上限30万円 ③保険外診療 1回の保険外治療あたり上限30万円 ○不妊治療に係る交通費に対する助成(拡充) 遠方の不妊治療施設までの治療にかかる交通費(往復分)の一部を助成する(公共交通機関・自家用車利用について、旅費規程に準じて算出した交通費の額(実費を上限とする)の8割を助成)。 1子につき通算10回までを上限として助成 ・開始日: 令和8年4月1日以降の治療にかかる交通費
[スケジュール]	・R8.4～ 事業開始
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41305 出産・子育て応援事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	こども未来計画、過疎地域持続的発展計画、地域福祉計画		
	款	4	衛生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり									
	項	1	保健衛生費		政策分野	2	こども・教育・交流									
	目	3	母子衛生費		施策分野	(1)	こども・子育て									
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2805				市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	妊婦が安心して妊娠・出産ができるよう「経済的支援」を実施するとともに、妊娠期から出産・子育てに至るまで、面談を通して各家庭の状況を把握し、悩みや不安に寄り添いながら必要な支援へと繋いでいく「伴走型相談支援」を実施する。	概要	・妊婦に対し、妊娠期と出産後に妊婦のための支援給付金を支給する「経済的支援」の実施 ・妊婦に対し、保健師や助産師などが訪問・面談を行い、悩みや不安に寄り添いながら必要な支援へと繋いでいく「伴走型相談支援」の実施
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		55,872	18,599	71,240			
特定財源	国費 ( 出産・子育て応援事業費 1/2、2/3、10/10 )	38,030	12,109	62,320			
	県費 ( 出産・子育て応援事業費 1/6、1/4 )	9,840	2,821	4,460			
	その他( 飛騨高山ふるさと基金繰入金 )	4,000	1,000				
一般財源		4,002	2,669	4,460			
新規・拡充	主な事業内容						
	出産・子育て応援事業	52,900	15,637	70,200			
	伴走型相談支援(妊婦等包括支援事業)	872	862	1,040			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		48,700
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
51,267	51,240	51,240	△ 20,000	
50,633	50,620	50,620	△ 11,700	
316	310	310	△ 4,150	
318	310	310	△ 4,150	
査定額	説明			
50,000	R7ギフト精算対応終了			
1,240				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・妊婦及び対象児童を養育する子育て世帯に対する経済的支援として、出産応援給付金:現金7件・ギフト372件、子育て応援給付金:現金58件・ギフト340件の支給を行った。現金対象者への支給は3,250千円(1件5万円)、ギフト対象者への支給は12,387千円(利用率34.8%)であった。 ・すべての妊婦届出をした妊婦及び対象児童の養育者に対し、保健師等による面談を行い、安心して出産、子育てができるよう相談支援を行った。 ・伴走型相談支援として、妊娠8か月アンケートを実施。387件発送し、254件が回答。未回答や支援が必要な妊婦298人に対し、助産師・保健師による訪問や電話による支援を行った。
評価等	・すべての妊産婦と面談し、妊娠期から出産、子育てまで一貫して身近に相談に応じることで、様々なニーズに合わせ、必要なタイミングで必要な支援ができた。
次年度以降の考え方(担当課)	・すべての妊婦、子育て家庭が安心して出産、子育てができるよう、経済的支援及び伴走型相談支援を継続していく。 ・令和6年度は、岐阜県が構築した「ぎふっこギフトサイト」を活用し、デジタルポイントを利用した商品交換としたが、国の制度化により、妊婦のための支援給付金(現金給付)とする。 ・令和6年度ギフト対象者の残りのギフトポイントについては、令和7年度末で利用終了とし精算する。

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・妊婦が安心して妊娠・出産ができるよう経済的支援と妊娠期から子育て期までの伴走型相談支援に必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(令和8年度予算)

事業名	41320 養育医療給付事業費			予算	会計	1	一般会計	総合計画	重点戦略	方向性	1	こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	根拠計画	こども未来計画、過疎地域持続的発展計画、地域福祉計画	
	款	4	衛生費		ポイント	(1)	健やかに育つ環境づくり								
	項	1	保健衛生費		政策分野	1	福祉・医療・健康								
	目	3	母子衛生費		施策分野	(4)	児童福祉								
担当課	こども未来部	こども家庭センター	内線	2805								市長公約	やさしく！～周りを敬うやさしさ～ 乳幼児から高校生まで、時代に合った子育て環境を提供します。		

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・養育のため病院または診療所に入院を必要とする未熟児に対し、その養育に必要な医療の給付を行う(または養育に要する費用を支給することにより、乳児の健康管理と健全な育成を図るとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。	概要	・厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う以下の医療に対し給付 ・診療、薬剤又は治療材料の支給、医学的措置、手術およびその他の治療費の給付 ・病院又は診療所への入院及びその療育に伴う世話その他の看護、移送費の給付
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合計画等 主な指標	R6実績	R7実績	R11目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R6			R7		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		4,008	3,810	4,010			
特定財源	国費 ( 養育医療費 1/2 )	1,600	1,120	1,600			
	県費 ( 養育医療費 1/4 )	800	560	800			
	その他( 養育医療負担金 )	800	808	800			
一般財源		808	1,322	810			
新規・拡充	主な事業内容						
	養育医療の給付	4,008	3,810	4,010			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和8年度予算編成(Action)

R8予算		実施計画額		4,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,006	4,010	4,010	0	
1,600	1,600	1,600	0	
800	800	800	0	
800	800	800	0	
806	810	810	0	
査定額	説明			
4,010				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和6年度事業実績・評価等(Check) R7.8実施

事業実績	・厚生労働大臣または都道府県知事が指定する「指定養育医療機関」の行う医療に対し給付 診療、薬剤又は治療材料の支給、医学的措置、手術及びその他の治療 病院又は診療所への入院及びその療養に伴う世話その他の看護、移送 給付実人員 15人、給付件数 36件
評価等	・必要な医療の給付を適正に行った。
次年度以降の考え方(担当課)	・必要な医療の給付を適正に行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R6完了 <input type="checkbox"/> R7完了予定

5.令和7年度事業実績・評価等(Check) R8.8実施

事業実績	
評価等	
次年度以降の考え方(担当課)	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R7完了 <input type="checkbox"/> R8完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・養育医療の給付に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり